

□連載エッセイ／私のひろいもの△13▽

徳利いっぽん

竹中 郁 △詩人・絵も▽



生田神社前の高架下にちらばってではあるが古玩店がある。植木の鉢物の店もある。これで古書店が加わると、北京の琉璃廠なみということになるわけだろうが、わが神戸にはまだそこまで風流のレベルが高くはないらしい。つまり都市文化の熟成がおそいので、あれだけの人の群れを目前にしながら、愛書や愛花、愛古玩の一廓をかつちりと築きあげるところまでいってないのだ。

さて、そこに「三浦」という店があって、主として朝鮮の李朝ものをならべている。通りがかりに「何かないか」と店内を眼で一撫でするのがくせだ。若いころ、長い間のすねかじり業（こんな業があるかな）のかたわら、いくらかは原稿料もかせいでいて、その方は李朝陶器の小品をあつめるのに投じた。水滴や筆筒や紙筒というようなものから、いくらか大きな花瓶や壺、そんなものだった。その一部が戦火をのがれて手許にある。その蒐集ぐせがまだのこっていて、その店をのぞきこむわけだ。

さて、年の暮れのあわただしい灯し頃、李朝白磁の小物にまじって、一目で「舞子焼」としれる蕎麦手の、かなり保存のよい徳利と刺身皿とがならんでいた。しかも、徳利の肩から胴へかけて、達筆な筒書きで白のいっちゃんの文字が走っていた。「萬亀楼」と走っていた。

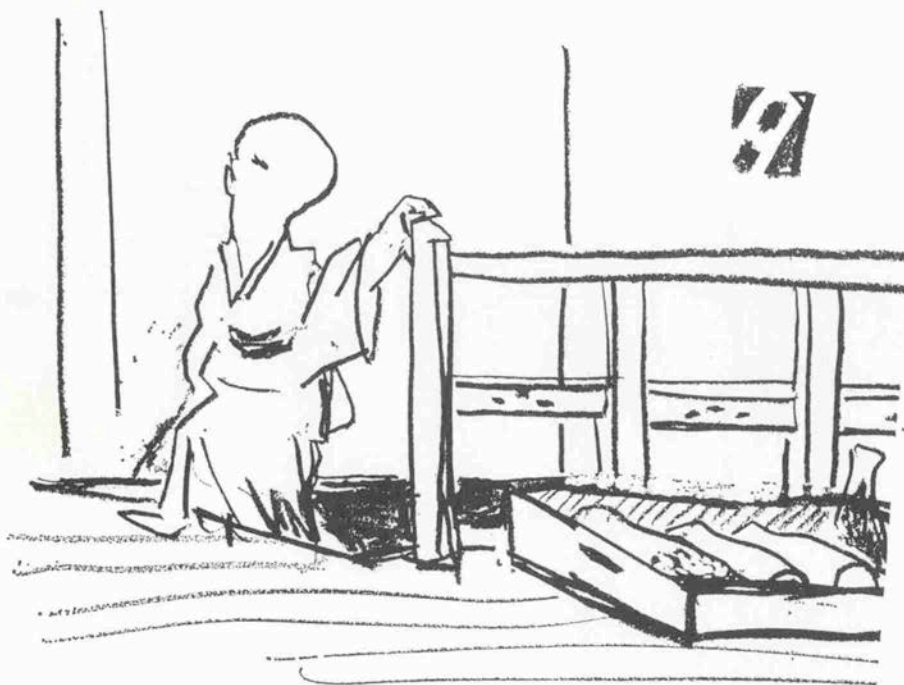
私はこの徳利がほしかった。何もすぐれた美術品というでもない。たかが明治末期のまあ無名の窯の記念品。小ぶりなところも、いかにも料理屋からの註文品。どこといって怪俄のないのと、この明かな出自の自己証明。そんなこんなひかれて、買い求めた。

三浦のあるじに、この徳利はいったどこから手に入れたのかときくと、加古川近くにむかし陶器の間屋をしていた家があって、そこからだという。

万亀楼の発註品が、加古川くんだりの店の手にくぐっていたとは受けとりにくい話だが、万亀楼はもとは魚問屋をしていたらしく、それも勿論西

の方の明石らしいとのことをきいたことがある。そうすると、この加古川とのつづきあいもあながち無理な話ではない。

戦火で焼けてしまつて惜しいことだが、私が万亀樓の座敷で父とならんでお膳の前に坐つていた写真があつた。親戚の写真ファンがとつてくれた



もので、腕といふ機械といふ七十年近く昔のものだ。はつきりしている筈はない。しかし、そこに徳利がなかった筈はないのだ。大酒呑みのおやじのお膳に徳利のなかった筈はない。

ただ、その写真の残像を私の記憶の中にさぐると、父のうしろに床の間があつて床板の上に黒びかりの布袋さんがあつた。これと、父がすこしにたにたとでもいいたい表情をしていたことが妙に鮮明に浮んでくる。

徳利のすがたよ、徳利のすがたよ、と私が記憶のブラックホールみたいな中をさがしまくつたら、突如てきた。

大阪か神戸からの大ぜいの宴会がある、二階の大座敷の山側の廊下、これが幅一間半の拭きこんだ板敷きだ。その階段がぼっかりと口をあけて階下の玄関の間が見える位置にしばしば私は立っていた。座敷の中の大人のはしやぎを見るのが好きだったからだ。

忙しそうな仲居がはこび出してくる脇取りの上のからになった徳利の列。

あれだった、あれだった。

にぎやかな座敷の雰囲気から、一役すませた徳利が廊下の階段の手すりの根もとに、横にころがされている風情。座敷のさんざめきと対照に子供のころをひいたのだった。

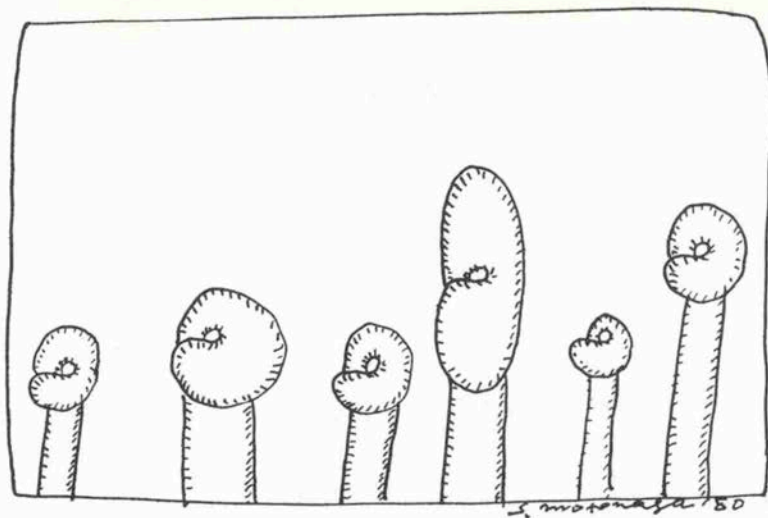
昔懐し

十三まいり

三枝和子

〈作家〉

絵／元永定正



受験期である。この頃になると毎年きまってお水取りの前後から厳しい冷え込みの日が続く。白い息を吐きながら試験場に急ぐ子供たちの姿は、風物詩などとのんびり眺めるにはちょっと痛ましい感じもする。とにかく受験は戦争なのだそうである。

——なのだそうである、と他人ごとみたいに言うのは、私自身受験戦争の体験はないし、その上、子供を持っていないので親としてこの戦争に参加したこともない、それこそ文字通りの他人ごとののだが、それは別として、こうした傾向にかなりの批判があるからに他ならない。

子供がいらないからそんなふうに見えるのですよときめつけないで欲しい。受験戦争が他事である人間の発言も聞いて、少しはこの逆上状態を反省してみたらどうかと思うものである。全く正気の沙汰じゃない。どうしてこんなに沢山の人間が学校へ行きたがり行かせたがるのだらうと、それが不思議だ。私たちの子供の頃は、勉強の好きな子供でも学校へ行けなかった。この頃は勉強の嫌いな子供まで学校へ行かなければならない。奇妙な世の中になったものだ。勉強の嫌いな子は、日常生活に差支えない程度の(義務教育で充分過ぎる)ことを学べばよいので、それ以上の無理強いはいエネルギーの無駄だと思うのである。この省エネ時代に、子供も親も社会も、受験に費される膨大な労力を見ると、何とも勿体なくて仕方がない。

その点、昔の人はなかなか卓抜な風習を持っていた。「十三まいり」というのを御存じだろうか。三月十三日に男女とも十三歳になると虚空蔵さまに御参りする。十三歳というのは「変体の厄」な

のだそうで、男の子も女の子も声変りしたり初潮をみたりつまりその年頃で大人の仲間入りをするので、無事大人になりますよう「十三まいり」をし、虚空蔵菩薩に智慧を授かるうとする信仰である。

戦後の一時期、私は長田神社から少し山手の明泉寺町というところの下宿していた。その近所の小母さんから「十三まいり」の話を聞いた。お寺が戦災で焼けてしまって、この風習が失くなったので心許ない、と嘆いていた。上の子三人はお参りしたが下の子二人は御利益をいただいていないのが気になるようであった。

今度、この歳時記を書くにあたって桐山宗吉氏による「神戸のマツリ芸能」の一覧表を調べていて、長田区長田町の長福寺という寺で、「十三まいり」があることを知った。明泉寺町の小母さんの話はこれに違いないと早速に訪れてみた。

三十年近くも前に歩いた道は様変りが激しくて戸惑ったが、それでも長田神社まで来ると記憶が甦った。長福寺は、正式には寿宝山長福禪寺と言いつた神社の裏通りにあった。やはり小母さんの言っていた「十三まいり」の寺に間違なかった。昭和十九年三月の戦災に門だけを残して焼失、そのとき運び出されて一時よその寺に避難していた御本尊の虚空蔵菩薩を昭和二十八年仮本堂に奉祀し昭和四十六年になってやっと本堂が落慶、「十三まいり」が復活したと、貰った縁起には書いてあった。

長福寺が受験の祈願をしてくれるのか、どうか、立ち入って聞かなかったから分らないが、虚空蔵菩薩は文殊菩薩と共に智慧の仏様であるから、願

をかける人がないとは言えない。しかし本来の「十三まいり」の方が、やはり人間らしくていい。これは一人の人間が成長して大人の仲間入りをする機縁として祈願されるのだから、どこその学校へウカリますように、などというチャッカリしたものではない。

夕暮近い境内で、年配の物静かな婦人が一人、掃除の手を止めて話してくれた。なかに面白いことが一つあった。「十三まいり」で虚空蔵さまから智慧を授かって帰るとき、振向いては折角いだいたものが元の本阿弥になる、というのである。「ここから赤い橋まで、決して後ろを振りかえないで真直ぐ歩かなければいけない、と申します」山門から長田神社の先の赤い橋までは、そう、どんな速足でも五分以上はかかるだろう。言われて、そのことを意識して歩くと、ちょっとした緊張感が生じた。十三歳と言えば中学一年生になるのか。はじめて一人でこの道をお参りに来たりすると、人通りも多いから、気を散らさず歩くことは、やはりかなりの努力であるに違いない。それだけに無事赤い橋を渡ったときの小さな満足感が思いやられる。

ママ付添いの入社試験が、そろそろ冗談でもなくなりつつある昨今、見直して欲しい風習である。もっとも、此の頃の「十三まいり」はママ付になってしまったのか、どうか、それは聞き洩らした。

オリエンタル レディスクラブ

会 員 募 集 中



月例グルメの会：シェフによるメニュー説明

年会費：お一人 5,000円

割 引：オリエンタルホテル、六甲オリエンタルホテル
での宿泊、飲食の際サービス料10%割引いたし
ます。その他のいろいろの特典がございます。

特別催：随時、会員のための特別催しをいたします。

お問い合わせ

オリエンタルレディスクラブ事務局

神戸市生田区京町25 オリエンタルホテル内

☎(078)331-8111

忘れられない幼い日の
美しい思い出

桃の節句



ひなまつりケーキ
で 祝ってあげて下さい

北 欧 の 銘 菓

ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・船内店 神戸市中央区船内町1-8(南富美術館東隣)TEL 221-1164
■三宮センター店・さんちか店・太丸・そごう・阪急・神戸デパート・元町店

△その7▽

四国村・屋島南麓

水谷 顕介△建築家▽

四国高松の屋島南麓に四国村が誕生したのは、51年10月3日である。敷地は、ほぼ3ha(1万坪)だという。現在では、四国各地から集められた建物を中心に、18棟が山麓のあちこちに、実に気持のよいただずまいで、配置されている。讃岐の江戸時代の特産だった砂糖づくりのために牛が糖きびをひく石うすをぐるぐる廻していたという円錐形の美しい屋根をかぶった砂糖しめ小屋、平家落人の村である徳島東祖谷村の隠居屋・主屋・納屋が、一列に並んだゆったり

とした民家小石家、中庭をもつ町家のような構成をとっている引田町馬宿にあった久米通賢旧邸などを、自然の地形をくずさないかたちで敷地を全体を循環しているマクラ木道がつかないでいる。

村全体のシンボルは、流正之氏デザインの石塁のながれ坂と滝の流れが響きわたる人工池、小豆島での姿を再現した農村歌舞伎舞台である。村の入口には、神戸から移築された旧日本郵船船員寮の異人館もある。

民家の学術的復元のためには多

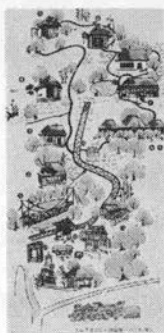
▲祖谷の民家(平家の落人村として知られる祖谷の民家)約百八十年前の建築

▲源平ゆかりの地、四国村の地図

(財)四国民家博物館

高松市屋島中町91

☎(0878)4313111



△入村料▽

大人 380円/高校生 300円

東神戸から、加藤汽船、関西汽船のジャンボフェリーで約4時間、1日10便、高松港着

くの専門家の協力が必要だが、この四国村には、国立文化財研究所の宮沢智士氏文化財保存技術協会の上田虎介氏や、広島大学の鈴木充氏などが参加している。

民間主体のこの種のケースとしては金沢白雲楼の「江戸村」があるが、金沢が平坦地地形が大部分で町家主体であるのに対して、ここ四国村は、山の自然傾斜で農漁家主体である。

民間主体の主は、加藤汽船であり、神戸から4時間の瀬戸内海の船旅を楽しんでの行楽・勉学の対象としても好ましい。

屋島から少し東に足を延すと、石の庵治の村にでる。ここにも彫刻家イサム・ノグチ氏の民家を移築したアトリエがある。ノグチ氏の作品が並ぶ岡山の関谷学校のを模した石造堀も見事である。流正之氏の作業場もここに近い。

播磨灘を囲む地域には、高松の石彫・漆器、岡山備前の陶芸、兵庫淡路のや明石の瓦、淡路の線香、徳島の藍染などの工芸とともに、兵庫龍野・小豆島・香川引田の醤油や播州と小豆島のそうめんなどの自然食品産業が群立している。水産業はもちろんのことである。兵庫、岡山、香川、徳島と海で切り離されていたこの地域を、環播磨灘自然工芸都市群として方向づけたいものである。

二十一世紀への豊かな

国際文化都市づくりを

新野幸次郎

△神戸大学経済学部教授▽

外島 健吉

△神戸商工会議所会頭
株式会社神戸製鋼所相談役▽

中内 功

△神戸商工会議所副会頭
株式会社ダイエー取締役社長▽

鬼塚喜八郎

△神戸商工会議所ファッション
都市づくり特別委員会委員長
株式会社アシックス取締役社長▽

★ポートピア'81は神戸発展の過程だ

「ポートピア'81」（神戸ポートアイランド博覧会）の開幕もいよいよ一年後に迫りました。神戸市民としてこれをどう迎えるべきか、そして、ポートアイランドが完成しますと国際交流会館、国際見本市会館などもオープンしますが、これらについてどう考えられるか、さらに、関西新空港と神戸とのアクセスはどうか、などに

いてお話をお願いします。まず、ポートピア'81について外島会頭からお願います。

外島 来年の春、百二、三十万坪のポートアイランドが完成する。これを日本国中の人、あるいは外国の人に来て見てもらいたい。それには博覧会をやれば一番いいがかといって、万博をやれば、博覧会の建物は撤去しないといけないという制約があるので、万博令によらない博覧会をやろうということで、国際交流会館とか国際見本市会場とかは博覧会に使って、そのあとに使う。プラネタリウムや競技場も残す。結局、神戸の発展のきっかけにしようということですね。人間は何か目標があり、その目標に向って具体的に進むということではじめて力が出てくる。博覧会をやるということによって、新交通システムも出来るし、国鉄三ノ宮駅も改築されるし、国際交流会館やホテルも出来る。神戸あるいは兵庫県のシンボルというか、目標を博覧会にしているわけですね。鬼塚 ポートピア'81は、それが終わったあとに目玉になるものをうまく建設して行くという、その一つの過程であると思います。そのためにはポートピア'81を成功させることが第一歩である。これを成功させて、さらにその



新野幸次郎さん



鬼塚喜八郎さん



中内 功さん



外島 健吉さん

次にこれをどう展開して行くか、ということ念頭に置いてポートピア81を迎えないといけない。特にフアッション都市づくりを目指している神戸では、全国から博覧会が集まってくる六百万人、あるいは、一千万人になるかも分かりませんが、この人たちをただポートピア81へ招待するというだけではなく、全神戸が、全兵庫がこれらの人々をどう受け入れて行くかが大変重要な課題になってくると思います。ポートピア81以外の神戸のタウンづくりでそれをどうするかを、早急に具体案をもってかられないといけないと、こう考えています。

中内 神戸のフアッション都市化、あるいは、情報都市化について、この博覧会を契機として神戸の京阪神における位置づけというものをハッキリさせ、また、西日本における神戸の存在理由もハッキリしてくるし、大きくは関西の復権ということにつながって行くと思う。地方が力をもって自ら文化を創造して行く時代に先がけて、ポートピア81が開かれる。この意味としては、このあとにいろんな国際的な情報基地が生まれるので、日本がこれからますます国際性をもてくるときに、そのリーダーたりえるのではないかと考えています。ポートピア81を通じて、神戸が国際性をもった、開かれた都市であることをたたくさんの日本人、外国人によく理解していただきたい、と考えています。

新野 ポートアイランドは、いろんな意味で新しいヒントを与えていると思う。まず、資金づくりの点では、マルク債に着目し、外国から資金を集め、建設技術の点でも須磨から空中のベルトコンベアと、ブッシャーパージで土を運ぶというアイデア、また、完成した島についても国際交流会館、国際見本市会館やホテル、住宅、公園などユニークなアイデアが盛り込まれて、しかも、コンテナ基地だけでも世界一の規模になりましたね。そういういろんな意味でのユニークさを象徴していると思いますね。そういう意味で今度のポートピア81が、従来から新しいアイデアが開拓される中心になっている神

戸で開かれるのは非常に意義深いのじゃないかと思う。ただ問題は、建設過程でユニークであったものが、維持と発展の中でユニークな形体をとりながら、日本経済の中にいろんな意味で刺激を与えられる存在になれるかどうかということ。そういう方向にしないといけない、それが我々に課せられている課題だと思えますね。

★「神戸市民会議」をつくるべきだ

——国際見本市会場にしても、国際交流会館にしても、神戸市側の対応が際立ってしっかりしているという話が聞かれますが、そのへんいかがでしょうか。

外島 神戸市が発案し、ポートアイランドにコンテナ基地をつくって、その扱ひ量が世界一になっている。だから我々は神戸市のやり方を信用している。それに協力しても大丈夫だという自信があるから、ホテルにして、国際交流会館にして、神戸財界、あるいは、日本の財界が集まって、力を貸しているわけですね。新交通システムにしても、ホテルにしても、第三セクターのようなものですね。

話は変わりますが、今、工場は廃棄物処理で困っているのですが、特殊な船を造って、その上を工場にする。海岸から十キロなり二十キロ離せばいい。内地の工場もそこに移転できる。その一つのあらわれが、六甲アイランドですね。あそこを陸から離れた加工基地にする。行政は、神戸市が発展する基礎をつくってくれたので、あとは我々の力でやって行かないといけない。その第一の取っかかりがポートピアだよね。

中内 ただ、残念ながら、ポートアイランドの計画は、コンテナ基地をつくらうということから発想して、あとから海上都市構想が出て来た。発想が逆転している。本来は、海上都市をつくるということから進めていただきたかった。だから、今度、六甲アイランドをつくられるときは、コンテナ基地を中心として余ったところを使うというのじゃなく、もっと総合的なプランニングをして全体的な計画を進めてやって行かないといけない。ポー

トアイランドの場合、橋ひとつみても、今でも渋滞していて、博覧会ではクルマで行けないということで、計画の抜本的な見直しが必要になっている。六百万から一千万の人をどうして会場まで運ぶか、唯一、新交通システムに頼っているという実態を考えてみる必要がある。

外島 兵庫県警の交通専門の人によると、どうしても橋がもう一本要するという事になりそうですね。しかし、それは間に合わないから深江や中突堤からフェリーで運ぶということを考えているらしい。

中内 できるだけ早く、商工会議所あたりが音頭をとって、もう一本橋をつくらないと、ホテルや見本市会場へ行く人をいつもフェリーで運ぶことになる。

鬼塚 事後の発展からいっても、もう一つ橋が必要だ。新野 博覧会協会の方は、博覧会に来られる人をどう運ぶかという問題だけですが、以後の問題がある。それが重要なポイントですね。

中内 行政が容れ物をつくって、あとは民間が使えという発想はやめて、商工会議所あたりが主導権をとり、まず、中味を決めて、それから容れ物をつくるように発想を変えてもらわないと困る。我々神戸財界としては、このへんを考え直さないといけないですよ。

鬼塚 商工会議所の中にプランナーを充実するということは、新しい課題ですね。

新野 以前から神戸は行政主導型だと他の都市からはいわれていますね。最初の計画のときから財界や市民の生の声を入れ、三者一体となって構想を進めて行くと、神戸市の方もやりやすいでしょうね。

中内 神戸市民会議というものをつくって、百人ぐらいのいいスタッフで構成し、神戸を日本一住みやすくするための会議を年に二、三回開いて、市民全体が参画してゆく。商工会議所がそれを後援する。市民一人ひとりがもっている神戸をよくしようという情熱を結集するための日本でも数少ない市民参加の市民会議ということは大いにやらないといけない。それを至急につくる必要がある

る。その議場をポートアイランドにつくることです。

鬼塚 常設のものをつくる必要がありますね。

外島 青年会議所、経済同友会やいろんな団体各層の代表が入って、それを商工会議所でまとめて、市にもって行き、市と一緒にやるということです。それと、コンベンションシティというハッキリしたものは日本にないわけですね。それがポートアイランドで実現するということを大いにビー・アールしないといけないですね。

中内 コンベンションシティとして、大きなホテルがあり、町の美しさと人情の良さ、明るくて、人情が細やかで、第一、ものがうまい。これをビー・アールする。

鬼塚 そういう神戸のもっている特長をコンパクトにしてポートアイランドにおく、ということですね。

新野 神戸は元々開放的な都市ですから、外から人を受け入れるということでは条件がある。しかし、開放的ということとは、同時に、地域のためにみんなが結集し、力を合わせてという考えが割に少ない、ということでもある。したがって、ポートピア'81の期間、ホテルや商店街の関係の方々は本当に歓迎をする態勢づくりをする必要がある。と同時に、一般市民に対して、これは我々のものだ、やってよかったという感じをもたせるいろんな配慮が要ると思う。終わったあとでもコンベンションシティとしての性格がもてるような雰囲気が必要ですね。

中内 具体的運動としては、「いらっしやいませ」「お早うございます」「どうも有難うございました」を徹底する運動をホテルも商店街もサービス業全体に、ポートピア'81を契機として起こす。それを全市的にくり広げて、ポートピア'81へ来た人に、神戸は感じのいい町だと感じてもらうことが必要ですね。

鬼塚 そのへんからスタートすることが大変重要ですね

新野 ポートピア'81に六百万から八百万の方々がお見えになったとき、本当に満足してもらえる環境づくりが必要ですね。それが、あとにズツと影響して来ますね。

リテイのある町だということを肌で感じてもらう。そのために神戸市民全体がポートピア'81に参画するという意識をもつことですね。

鬼塚 意識をもつところから始めないと本物になって来ませんからね。

外島 中内さんのおっしゃったように、具体的に挨拶を徹底させるキャンペーンから始めることですね。

★文化投資が今後ますます必要になって来る

中内 ファッション都市ということでは、着て、それを見せる場所がないといけない。神戸に来たら大胆なファッションを着て歩けるという環境づくりが必要ですね。着て行く場所がないとファッションは盛んにならない。ホテル、劇場、コンサートホール、レストランなどないのができないというファッションが出て来ない。

鬼塚 ファッションを演出する場所づくりが大変重要な課題になってきますね。

新野 いわゆる「ハレ」の場所ですね。

中内 それと、まつりをもっとたくさんつくることですね。日本人はまつりが好きですから、神戸でも年に二、三回は全国から人が集まるまつりを盛んにする。

鬼塚 まつりを演出するということは、人を集める、人を集めるということは神戸を知ってもらうということですから、それをどうやってゆくかプランニングの必要がある。今は神戸まつり一つに頼っている。酒まつりとかお菓子まつりとか、ライフスタイルそのものがファッションだということから、それに關するまつりを演出してゆく必要がありますね。

中内 だから、メッセを盛んにして見本市をやる。見本市でその業界がまつりを展開する。ケミカルや洋菓子やお酒など業界が中心になってまつりを打ち出し、まつりを大きくして行く。町の文化に根ざしたまつりと、業界のやるまつりと二つをかみ合わせて、どんなイベントをやるが必要だと思います。

新野 コンベンションシティとの関連でいいますと、今

のまつりとかも大事なんです、それと同時に文化の蓄積がどれだけやれるかが非常に大事なことになる。たとえば、今度、中内さんのところでお考えになっている流通大学も非常に重要な核になるものですね。そういうものが蓄積されますと、ただ、会場があるから神戸で会議をやるというだけではなく、こういうものも見られるし、こういうチャンスもあるという魅力がうんとふえる。そういう意味で財界の方も力を結集して、幾つかつくっていただくことがこれから必要じゃないですか。

中内 スイスのバーゼルには小さな美術館があるんですが、製薬会社が絵を買って、全部寄付している。神戸は小磯良平とか東山魁夷とか立派な人を輩出していますので、そういう人の美術館を神戸の企業がつくって、全国から見に来てもらうことを考えたらどうでしょう。

新野 総合経済開発機構というのが東京にあるんですが、その都市問題研究所からおとし研究費をもらって、我々が公共投資の実証研究をやったんです。ついこの間、報告書を出したんですが、それを見ましても、いわゆる公共投資の中で文化投資の役割が非常に大きいですね。神戸市の場合でも、風見鶏といいますが異人館ブームで少なくとも九百万人は来ている。あれだけの投資で、これだけの人が呼べる。甲府市がミレーの絵を買いましたが、あれだけで十分採算がとれる。そういうことを考えますと、コンベンションシティとしての機能を本当につくって行くためには文化投資を充実しないといけないことが分りますね。

中内 夫婦で来られたとき、旦那さんが会議に出ている間、奥さんにはレディスコースということで、兵庫県には、たとえば冬なら但馬へカニを食べに行ったり、立杭へ窯を見学に行ったり、また、ファッションショーを常に行って神戸ファッションを見てもらうというように夫婦で楽しめる町にする。

外島 兵庫県や神戸市にはそういうスポットがたくさんある。これをうまく掘り起こす。美術館でも、白鶴もい

いし、南蛮もいい。赤穂の岬もいいし、六甲山もある。それをビー・アールし、ルートをつくる。

鬼塚 そういう環境が整うと、当然、そこに産業が出てくる。神戸は卸機能が一番弱いのですが、見本市で成功しているのはドイツですね。メッセのある都市の発展は素晴らしいですね。市民全体が恩恵を受けている。そういうことを考えてみますと、神戸でも出来たら第三セクターを設けて専門に見本市の経営をやる会社をつくって、これを生かして行く。人が集まるといいですね。

中内 商工会議所で音頭をとって、見本市という呼び名よりもメッセということで、それを株式会社でやる。

鬼塚 メッセをどう運営するかは、商工会議所が母体となって運営の機関を早急につくらないといけない。これは博覧会が終わってからのやらないのではなく、今年中に運営機関をつくる必要がありますよ。

中内 新空港とのアクセスをどうするかということも、神戸にメッセがあればつくらざるを得ない。神戸にアクセスをもつて来ないとうしろもないということにしないといけない。アクセスをつくれただけだけではなく、神戸にはこれだけの機能がある、そのためには海上空港からまず、ストリートに神戸へ来る、神戸自体の内容が充実しておれば神戸へ来るを得なくなる、ということですね。神戸は町としても楽しいと……。

鬼塚 仕事が終わったらいよいよとエンジョイできる楽しい町だところへもって行きたいですね。

★神戸に新しいアイディアの出て来るメカニズムが必要
新野 それと同時に、一つぜひ考えていただきたいのは市の方で博物館をつくるというアイディアをお持ちですが、私はかねがねシカゴの産業技術博物館のようなものが欲しいと思っているんです。あの中には実際に炭坑や製油工場や農場が実物大にあって、入場するのに並んで待っているぐらい人気がある。神戸でも建物は市がつくって、中の施設は各産業の代表的な企業から寄付をしてもらって、最新の科学技術を具体的に分かるような

ものをつくる。そうして、全国にないもの、神戸に行ったら世界的な博物館があるというようなものを博覧会のあとに残してもらえばどうでしょうか。

鬼塚 相当大きなスペースですね。これは六甲アイランドの一つの計画ですね。

新野 ポートアイランドでも出来る規模ですよ。日本にはこういう大きなものはないですね。

外島 シカゴも最初は各社の模型、動く模型で、僕らもあれで勉強をしましたね。戦前はそんなに大きいものではなかったですね。

新野 企業のご協力さえ得られれば、シカゴのようなものは出来ると思いますよ。

鬼塚 それともう一つ、これは経済同友会でもいろいろと検討したことです。一つの大きなシンボルとして市庁舎をポートアイランドに移したらどうかということですね。それも、ただ行政事務だけの市庁舎ではない。そこにはオペラハウスも劇場も入っているし、文化のすべてが総合された市民庁舎をつくっていくことですね。たいへんユニークな存在になってゆくと思いますね。これも長期のプランですね。

中内 神戸市もこういう内容のあるものをつくって欲しいですね。

新野 これからは、財界の方で、うんと結集をしていただいて、資金集めからアイデアまで、リーダーシップをとっていただく必要があるんじゃないか。そうしないと市の方も財政困難の時代に直面してくると、これまでのようにイニシアチブをとって、どんな物的ソースだけつくって行くのはやりにくいでしょうからね。

中内 産業を盛んにして税収を得て、それを頒布するということの意味の循環を起こして、神戸の経済を発展させる。特に生活文化産業をどんどん起こして行く。

新野 最近の一つの特徴は、六甲アイランドには工場をつくってくれ、要するに就業機会を増やすような施設もつくってくれという要望が労働組合の方から出ています

ね。そういう意味では、市民の各層の中に、住み・働き・憩うという、そういう場所をつくってくれという要望が出て来たのは新しい傾向だと思いますね。

鬼塚 ちょっと前までは工場は疎開しろということだったけれど、そんなことをしたら活力がなくなってしまう。だから職住が一体となったものをつくるということは重要ですね。ポートアイランドにはファッションシティ、ファッションの卸ターミナルをつくるということになっていますが、今は参加が神戸だけの企業ですね。東京、名古屋、大阪、京都、あるいは、イタリアやフランスからもそこへ呼び寄せて、一大ファッショントウンをつくるのがいいんじゃないか。そのためには、ポートピアが終わってから誘致したらいというのでは遅い。今からビー・アールをする。本当に国際的なファッショントウンになるようにやってもいいですね。

中内 ハイカラなファッションの原点は神戸だ、だから神戸へ戻って来ないか、ということと呼びかける。日本のハイカラ文化は神戸からですね。

鬼塚 ニューススタイルの原点は神戸だということですね。パリのファッションはパリがあるから出て来たわけで、神戸のファッションも神戸の町があるから生まれてくる。他の都市にはない優れた地の利があります。中内 ファッションとは服飾だけではなく、生活様式そのもののですが、家具にしてもインテリアにしても、神戸のハイカラなファッション、神戸のセンス、国際性をもった世界に広がるファッションは神戸だということに大いに宣伝する必要がありますね。

新野 いずれにしても神戸で、科学技術とか、ファッションとかに新しいアイデアがどんどん出てくる。そういうメカニズムをつくらないといけない。それが文化を発展させ、八〇年代の新しい都市づくりに通じて行くと思います。

外島 八〇年代は神戸財界が大いに頑張る時ですね。

(オリエンタルホテルにて)

ポートアイランド情報

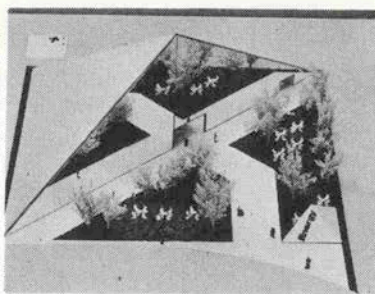
神戸ポートアイランド博覧会(昭和五十六年三月二十日~九月十五日開催)

楽しいイベントも計画進行中



★関西電力が 未来のエネルギーを表現

関西電力が出展する「未来エネルギー館」の建設計画が発表された。それによると建物は古代ギリシャ人のエネルギーの象徴を「ピラミッド」と見立て、頂点から縦半分に切った変形三角錐で、切った断面にアクリルミラーを張りつけて会場風景を映し出すしくみ。敷地面積約二千六百平方メートル、建築面積八百平方メートル。



関西電力「未来エネルギー館」完成予想図

展示内容は未定だが、石油資源の有限性や原子力など代替エネルギーの現状と可能性を示すとともに水素エネルギーや燃料電池など次代のエネルギーを模型やパネルで表現する予定。

★兵庫県出展のバビリオンは ふるさと再発見

ポートピア'81の特別館のうち、兵庫県が出展する「兵庫縣館」の建設出展計画が発表された。テーマは「歴史に学ぶ——新しい郷土づくり」で、原始の時代から近代まで、兵庫県の歴史を描く。

敷地面積三千二百四十平方メートル、建築面積千八百五十平方メートルの「兵庫縣館」は、博覧会場中央の中央広場西南に位置し、外観は「貝」の姿をもった和風様式。

展示内容は「歴史ものがたり」と「ひょうご再発見」で、「歴史ものがたり」は、パネル、模型、レプリカなどで遺跡、出土品、寺社、仏像、築城絵図を展示し、兵庫県の誕生と発展を原始から近代まで「瀬戸内海は草原だった」神戸は都だった」など十三のテーマによって構成される。史実考証と歴史監修は和田邦平氏(甲南大学教授)、演出は伊藤邦輔氏(梅田コマ社長)が担当する。

また「ひょうご再発見」は、歴史的遺産、民族芸能、伝統工芸などをビデオテープに収録したビデオライブラリーがメイン。

ほかに物産展やふるさと茶屋な

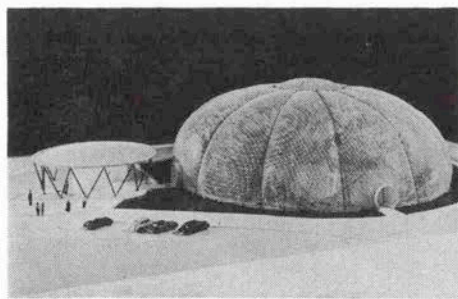
どを設置する。

なお同館での展示品は、姫路に建設される歴史博物館に収蔵される。

★芙蓉グループは植物を通して 未来を考える

富士銀行、丸紅など五十三社からなる芙蓉グループの出展構想が発表された。

敷地面積二千九百三十二・五平方メートル、直径四十メートル、高さ十五メートルの空気膜を利用した省エネタイプのドーム「グリーン・エア・ドーム」を建設し、「自然のめぐみ・ひとの知恵」をテーマに植物の生



芙蓉グループ「グリーン・エア・ドーム」完成予想図

産するエネルギーの重要さを科学的実証的に展示する。

厚さ〇・三メートルの透明なプラスチックフィルムを使ったドームの中に、さらに直径十五メートル、高さ十メートルの半球型ドームが四つ入り、展示スペースと管理棟になっている。空気膜構造建築の第一人者、村田豊氏が設計を担当する。

展示スペースとしての三つのドームは「あすの花園」「植物のひみつ」「花の劇場」とし、「あすの花園」では、様々な花、野菜や果物が未来的な立体人工栽培で展示。「植物のひみつ」は、植物の機能の秘密を解明し、新しい利用の可能性を示す各種の実験。「花の劇場」では、植物のすばらしさと共存の未来を表現する映像「私は緑の魔術師」を上映する。

総事業費七億五千万円。プロデューサーは秋山智弘氏。

★主なイベントは、国際広場、国際交流会館、屋内催物場で

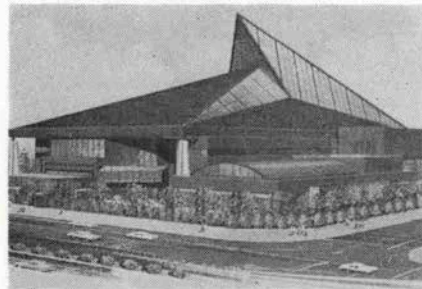
工夫を凝らしたパビリオンだけでなく「催し物」が博覧会には大切なもの。このイベントによってポルトピアを盛り上げようと、博覧会協会では、「芸術性の高いものから大衆娯楽まで幅広いプログラムを積極的にとり入れる」この二点を基本にイベントの計画を練っている。主なイベント会場としては、国際広場、国際交流会館・メインホール、屋内催物場の三ヶ所となっている。

国際広場は、約二千人収容の観客席に囲まれたマスゲームの広場で、正面にステージを設置し、広場全体はシェルターに覆われて雨天でも大丈夫。ショー「ポルトピア誕生」のほか、世界のピエロの競演「世界のピエロ・カーニバル」「日本各地の太鼓芸能の集大成」「日本の太鼓まつり」、「ポルトピア世界音楽祭」などが開催される。

またメインゲート北側、十一階建ての国際交流会館内のメインホールは、約七百人収容の、本格的な舞台機構を備えたホールで、日本未公開の「アメリカ・ブロードウェイ・ミュージカル」の上演や「日・洋舞公演」など舞台芸術が披露される。

屋内催物場とは、本来は国際競技ができる屋内水泳競技場だが、会期中は「盆栽展」「美術展」などの展示場として使われる。

以上の三カ所が主な会場となる



展示会場として使われる屋内水泳競技場

が、ほかに市民広場の回廊ギャラリー、南公園などで各種イベントが開かれたり、ラジオ・テレビの公録や市民団体による自主的な企画の催し物、世界の帆船フェア、ミニSLの運転などを計画中で、どんどん一般市民からの申し込みが協会に寄せられている。

★日本専売公社が

国際展示場で「たばこ塩」

日本専売公社では、約一万平方メートルの展示面積をもつ二階建ての国際展示場に出展を申請した。同展示場は、政府関係の公社、公団、地方自治体、外国からの出展会場とし、日本専売公社がその申し込み第一号。

日本専売公社では、「TOBACCOS & SALT」をテーマに、たばこ製造の一部実演と塩の生産工程を展示する予定。

★アメリカ・ワシントン州も出展

兵庫県と姉妹都市提携をしているワシントン州と、神戸市の姉妹都市シアトル市、それにシアトル港湾局、ワシントン州国際見本市協会の四団体で構成されるワシントン州ポルトピア委員会から出展の申請書が提出された。

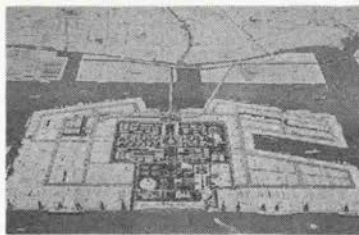
それによると「国際理解を通じての世界平和」をテーマに、シアトルの日系噴水彫刻家ツタカワ氏製作の噴水を配置し、同州で実施する俳句や絵画のコンテストの入選作を展示する予定。

展示場は、協会が建設する外国共同館の一区約四百平方メートル。

経済ポケット ジャーナル

★六甲アイランド

いよいよ始動
ポートアイランドに続く
第2の海上都市、六甲アイ
ランドの埋立てが約四分の
一完了し、いよいよ始動。



六甲アイランド完成予想図

この人工島は、昭和四十
七年に埋立てを始め、六十
年完成の予定で、総面積約
五百八十ヘクタール、ポートアイラ
ンドの約一・三倍の広さ。
「市民生活の基盤となり、
市民のよりよい生活環境づ
くり」に役立ち、市民に親し
まれ、世界と結び未来をひ
らく新しいまちづくり」を



目標に、新しい港湾施設の
ほか産業用地や住宅用地、
文化・レクリエーション用
地を整備する。

現在のところ約四十割の
埋立てが完了しているだけ
だが、昨年末には自動車専
用船が着岸し、海外向けの
トラックの積み込み作業が
行なわれた。また二月四日
には重量物専用埠頭に重量
物プラント輸出第一船の大
型船が着岸、六甲アイラン
ドの本格的稼動に入った。
★神戸駅構内に淡路屋がコ
ーヒーショップを開店

二月四日、国鉄神戸駅下
りホーム東階段の中二階に
立ち飲みのコーヒーショッ
プ「テルミーニ」(△終着駅と
いう伊語。8平方米。経営・オ
の淡路屋/寺本親社長Vがオ
ペン。コーヒー、紅茶の他、
サンドイッチ200円、ハンバ
ーガー150円とあって付近の
サラリーマンたちに重宝が
られている。

面白いのは、壁に電車の

時刻表がはってあること。
時計を見ながらなら決っし
て乗り遅れる心配のないと
いう配慮。



気軽さがウケているテルミーニ

しかし寺本社長は「喫茶
店展開をするつもりはなく
あくまでも淡路屋は、お弁
当の淡路屋」。ちなみにテ
ルミーニでも、本業のお弁
当を置いている。

営業時間7AM-8PM

★ウシオ工業神戸工場
西神IPへ移転
ウシオ工業(牛尾吉朗社長V)

★KOBE オフィスレディ★



藤本 典子さん(22)

＜御屋電社広告宣伝課勤務＞

主な仕事はPOP。デザインに関わる職場を
希望していたから、仕事が楽しそう。高校まで
はバレーボールの選手で、今でもスポーツ・レ
ディの彼女は、さっぱりとして明るい人柄。
理想の男性像は「一見クールな人、面食いは
ありません」という彼女、まだあせてはいな
い様子です。山羊座。兵庫区在住。

＜兵庫女子短大デザイン科卒＞



牛尾吉朗社長

計画によると、コンピュ
ーターを駆使した二十四時
間操業の新工場で、織ゴム
を月間四百五十万個生産す
る予定。織ゴムは、ブラジ
ヤーやガードルなどファン
デーションやはだ着に使用
され、同社はこの分野のト
ップ企業。新工場建設によ
って生産力倍増を図り、人
件費半減、生産コストの十
五割ダウンを考えている。
五十六年三月に着工し、
五十七年四月操業開始の予
定。総工費約十億円。

では、現在垂水区玉津町に
ある神戸工場を西神インダ
ストリアルパーク(西神I
P)に全面移転を計画。

どれから召し上がりますか?

ドイツの香り—11種類。



ユーハイムのビスケットは全部で11種類。
どれにしようかと迷ってしまうほど。どれも、
ドイツ菓子の伝統をしっかりと受け継ぎ自然
の風味・香りが生きています。



本	店	三	宮	生	田	神	社	前	TEL (331) 1694
三	宮	店	三	宮	大	丸	前	TEL (331) 2101	
さ	ん	ち	店	三	宮	地下街	スイーツタウン内	TEL (391) 3539	
西	ド	イ	ツ	店	フ	ランクフルト	ゲートハウス内	TEL (0611) 280262	

やまと髪に秘められた
晴れの日の慶び



着つけ/ 畑尾美久子
髪/ 畑尾宇多子

株式
会社 美容室

エリザベス

本店 三宮神社北東三上ビル2F TEL.331-8894・4917
芦屋支店 芦屋市阪神芦屋駅山側 TEL.0797-22-4067

お貸衣裳部

花嫁衣裳サロン

東京初代遠藤波津子直流
畑尾美久子の店

本店美容室エリザベスの上 TEL 331-3258

専属結婚式場 生田神社会館・オリエンタルホテル・阪急六甲山ホテル・蘇州園他